

TOKYO PRO Market

現状と上場実務

IPO塾特別編

9.7

13:30-14:50

WEB

総上場社数50社超、ここ数年は最高上場社数を毎年更新しているTOKYO PRO Market（以降、TPM）。一般市場上場と近いメリットを低コストで享受できるという市場の特長が人気の理由だ。

一方で廃止企業も増える。短期・低コストで上場可能と謳われた市場に上場審査厳格化の兆しが見える。

徐々に厳格化が進む可能性がある状況で、TPMに上場するためにはいつ・どのような準備をし、どのような審査を乗り越える必要があるのか。

本セミナーでは、TPMの現状と上場実務をJ-Adviserである宝印刷・大村氏が解説する。

大村法生氏

宝印刷株式会社
取締役常務執行役員
企業成長支援部長兼J-Adviser室長

ENTRY

<https://www.obc.co.jp/220907>



ENTRY

<https://www.obc.co.jp/220907>TOKYO PRO Market
現状と上場実務

にわかに注目を集めるTOKYO PRO Market (TPM) 市場。総上場社数は50社を超え、2022年の新規上場社数は市場開設来最高を更新することが見込まれている。一方で、上場廃止となる会社も増加しており、上場審査の厳格化もささやかれている。

なぜTPM上場を目指す会社が増加しているのか、その魅力は何か。また、TPM上場を検討するのであれば、TPM市場が構造的に抱えている課題を含めて、現状の把握が重要だ。

本セミナーでは、TPM市場の魅力と現状の課題をJ-Adviserの立場から具体的に説明する。

(1) TPM概要

- ・注目高まるTPM、TPM概要と人気の理由
- ・一方で廃止企業も増加…なぜか？
- ・TPM市場が構造的に抱える問題とは

(2) TPM上場実務

- ・TPM上場までのスケジュール
- ・上場までの管理体制構築
- ・上場審査への対応

Q&A

TPMの現状と上場実務について、J-Adviser宝印刷・大村氏が回答！
ご質問はお申込み時もしくはセミナー当日にZoomのQ&Aから受け付けます。



大村 法生氏

宝印刷株式会社
取締役常務執行役員／企業成長支援部長兼J-Adviser室長

1986年に東京大学法学部を卒業後、野村證券株式会社に入社。20年以上にわたりIPO関連業務に携わる。2005年に公開引受部次長、2011年から同部東京エリアヘッドを歴任。2018年に宝印刷株式会社に顧問として入社。同年7月執行役員、2019年7月常務執行役員企業成長支援部長に就任。2021年8月より現職。

宝印刷の

IPO 支援

上場準備から上場後まで、
経験豊富な専門家によるトータルサポート



【IPO塾・特別編】 TOKYO PRO Market、現状と上場実務

日時	2022年9月7日 (水) 13:30~14:50 (開演15分前よりアクセス可)
定員	200名
対象	IPOを検討されている経営者、CxO、管理部長 及び 経営企画部門、財務・経理部門の方 等
参加費	無料 (事前登録制)
共催	IPO Forumネットワーク (宝印刷株式会社 / 株式会社タスク / あいわ税理士法人 / TMI総合法律事務所 / アイ社会保険労務士法人 / 株式会社オロ / イシン株式会社 / 株式会社サーキュレーション / 株式会社プロネット / 株式会社オービックビジネスコンサルタント)
お問い合わせ	株式会社オービックビジネスコンサルタント 担当：坂本／本澤 mail：obc-as@obc.co.jp

- ※ 講師・共催企業と同業の方、個人の方はお申込みをお断りする場合がございます。
- ※ 講師・講演内容は予告なく変更になる可能性がございます。
- ※ 新型コロナウイルスの影響により講演が中止になる可能性がございます。